

2 身近な地域を地図と年表で確認しよう

まずは、宇部市の地図を眺めてみましょう。地図には様々な種類がありますが、下のものは、地形図と呼ばれるものです。よく見ると、いろいろな地図記号があります。この地形図から様々なことを読み取ることができます。



土地の使い方がわかる地図記号

建物が何に使われているのかわかる地図記号

田	 	畑	∨ ∨	市役所	◎	裁判所	⋈	警察署	⊗
果樹園	○ ○	広葉樹林	○○ ○○	消防署	∩	工場	☀	学校	⌘
針葉樹林	△ △	荒地	 	病院	⊕	神社	卍	寺	卍

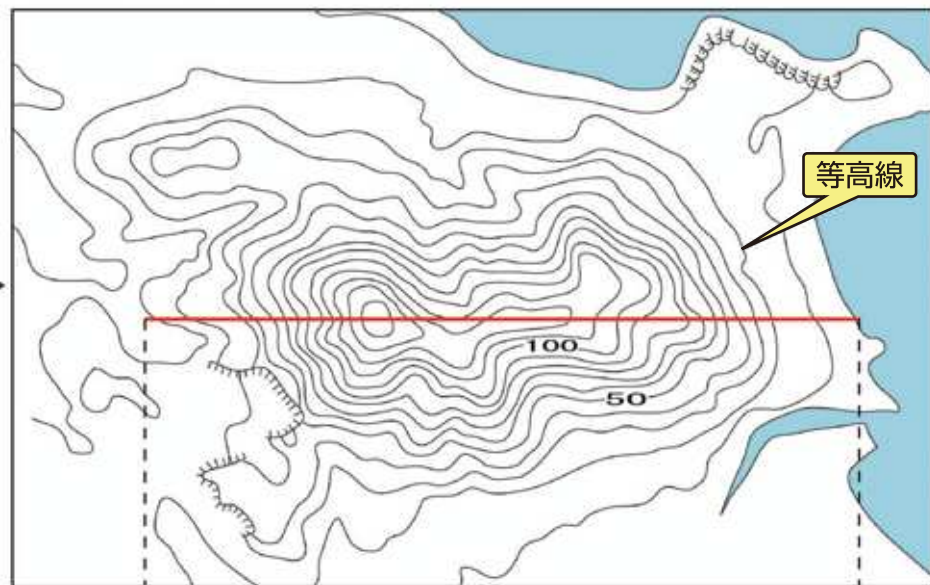
ところで、平面状の地図に、立体のものを表すにはどうすればよいのでしょうか。例えば、山のような大きなものは、下ののように表します。

■日ノ山（東岐波校区）

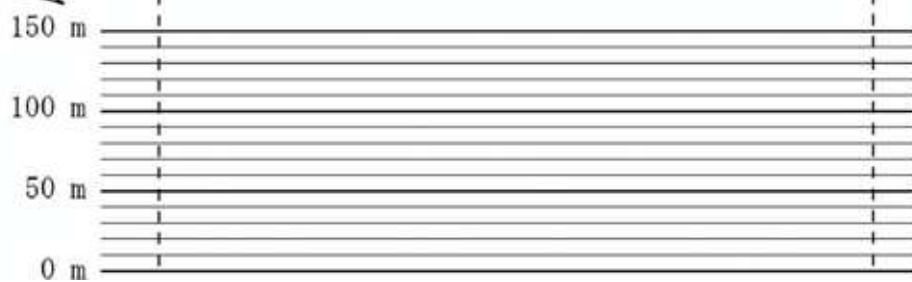


山のような立体のものを地図に表すことってできるのかな？

地形図に
表してみると



写真のようになるか
描いてみよう



【知っておこう】

- 等高線とは、同じ高さのところを結んだ線で、この線を見ると、土地の高さや起伏の様子がわかります。山頂や等高線の途中にある数字は、その場所の標高を示しています。
- 等高線の間隔が広ければ、地表の傾斜はゆるやかで、反対に間隔が狭ければ、地表の傾斜は急であることも分かります

次に、日本全体の歴史と身近な歴史がどのような関わりを持っていたのかについて、簡単に述べてみたいと思います。あたり前のことですが、宇部の歴史は日本の歴史の一部です。全国の動きとも密接に関係しています。

■日本全体の歴史

時代	おもなできごと
飛鳥	○律令政治のしくみが整う。
平安	○武士が登場する。
鎌倉	○元・高麗軍が襲来する。(元寇)
室町	○南北朝の争いがおこる。 ○各地の守護の権限が増す。
江戸	○下剋上の世の中になり、各地で勢力争いが繰り返される。 ○街道や宿場町が栄える。 ○全国で農業生産が高まる。 ○長州藩が倒幕の動きをおこし、各地で様々な争いが起きる。
明治	○学制が公布される。 ○産業革命が始まる。 ○新橋～横浜に鉄道が開通し、全国に次々とつくられる。
大正	○全国各地で米騒動が広がる。
昭和	○東京で大空襲がおこる。(太平洋戦争) ○広島、長崎に原爆が投下される。

■宇部の歴史

時代	おもなできごと
飛鳥	○周防と長門の国境が宇部に引かれる。
平安	○厚東氏が武士となり、宇部を治める。
鎌倉	○厚東氏が元軍と戦う。
室町	○北朝側の厚東氏が南朝側の大内氏に滅ぼされる。 ○大内氏が滅ぼされ、毛利氏が中国地方を治める戦国大名になる。
江戸	○山陽道の宿場町船木が栄える。 ○常盤池や各地の開作がつくられる。 ○宇部を治めていた福原氏や国司氏が切腹する。
明治	○宇部各地に小学校が開校する。 ○炭鉱がつぎつぎと開鉱する。 ○日露戦争直前、山陽鉄道が下関まで開通する。
大正	○宇部で米騒動が起こり、死者がでる。
昭和	○学童疎開が始まる。 ○宇部大空襲で市の中心部を焼失する。

ところで、身近な地域を調べる時には、下のような点に注目するとよいでしょう。そうすれば、宇部の歴史的な出来事を調べることから、日本全体の歴史とのつながりや宇部の特徴がだんだんと浮かび上がってくると思います。「日本がこんな時代だった時、宇部もこうだったんだ」「宇部の勢力と〇〇地方の勢力とはこんな関係だったんだ」など、新たな発見が生まれるでしょう。さらに、幅広い地域を調べることで、「宇部だけで起こった出来事なのか」それとも「他の地域でも同様に起こった出来事なのか」がわかり、歴史への想像力がかき立てられるかもしれません。

